

【学 年】 小学校第5学年

【題材名】 「いろいろな音のひびきを味わおう～いつでもあの海は～」(3時間扱い)

【育成する資質・能力】

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 |
|--|---|
| <p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の場面ごとの旋律の重なり方の違う合唱曲では、それぞれの旋律の重なり方を工夫すると歌唱表現が豊かになること。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の感じをつかみ、フレーズを感じながら主な旋律・副次的な旋律を歌う技能。 ・旋律の重なり方の違いを感じながら二部合唱をする技能。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで気付いた曲のそれぞれの場面の旋律の重なり方の特徴を生かした表現の工夫を考える力。 ・考えた表現の工夫を友と試しながらよりよいものへと高め、二部合唱をつくり上げる力。 |

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「Believe」等の合唱や「小さな約束」のリコーダー奏に親しんだ子供たちが、旋律の重なり方やハーモニーに興味・関心をもった。

働かせる見方・考え方：音楽に対する感性を働かせ、「いつでもあの海は」のそれぞれの場面の旋律の重なり方の違いを聴き取り、そこから生み出される雰囲気を生かして表現を工夫すること。

| 段階 | 学習活動 | 留意点 |
|-----|---|---|
| 第一次 | <p>◇曲の感じをつかみ、フレーズを感じながら、主な旋律・副次的な旋律を歌う。</p> <p>◇曲の ア・イ・ウ それぞれの旋律の重なり方の違いを理解する。</p> | <p>楽曲と出会う場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名や海の写真をしながら、曲を聴いてイメージを持ち、旋律を覚えて2部合唱する。 ・楽譜や図形楽譜を見て、旋律に着目し、アは同じ旋律、イは2つの旋律のかけ合い、ウは2つの旋律が同じリズムで重なっていることに気付く。 |
| 第二次 | <p>◇旋律の重なり方の違いを感じながら2部合唱をする。</p> <p>◇アをフレーズや発声の仕方に気を付けて歌う。</p> | <p>表現するための技能を身に付ける場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アのリズム打ちをし、1段目と2段目のリズムが似ていることに気付く。 ・声の響きが一つになるように、①のどを開いて歌う、②ブレス記号で息を吸い、フレーズを意識して歌う、③グループや全体で円になって音を一つに集めるイメージをもちながら歌う。 |
| 第三次 | <p>◇イ・ウをだんだん波が盛り上がっていくように歌う工夫をする。</p> <p>◇旋律の重なり方の違いを生かした表現を工夫して二部合唱する。</p> | <p>身に付けた技能を生かして曲想を表現する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の山へ向けて3つのフレーズを意識しながらだんだん盛り上がるように歌う。 ・自分たちの演奏のよさを録音を聴く等して振り返る。 |

※ **ア** 曲の1～8小節目 **イ** 9～12小節目 **ウ** 13～16小節目

次題材へのつながり：「曲想を味わおう」等の歌唱題材や合唱曲でも、旋律の重なり方を生かして表現の工夫をすることができる。